

## インパクトデスケラー(ハード &amp; プレミア)

## 安全データシート〈SDS〉兼 GHS分類シート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	: インパクトデスケラー プレミア (IMPACT DESCALER PREMIRE) インパクトデスケラー ハード (IMPACT DESCALER HARD)
製造者	: Precision Dynamics, INC.
原産国	: アメリカ合衆国 (U.S.A)
日本国総販売管理元	: PROUP株式会社
住所	: 新潟県新潟市中央区西大畑町617-2
電話番号	: 025-290-7704
FAX番号	: 025-290-7794
メールアドレス	: info@proup-impact.co.jp
緊急連絡先	: 025-290-7704

## 2. 危険性有害性の要約

## 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自己反応性化学品	区分外
	自然発火性液体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	酸化性液体	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷	区分 1
	呼吸器感作性	区分 1
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分 2
	吸引性呼吸器有害性	区分外

ラベル Labeling(REGULATTION(EC)No 1272/2008)

## 危険シンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 H314+ H318 一重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷を負うおそれ  
H332+ H334 一吸入すると有害な場合あり、アレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ  
H371 一呼吸器系の障害のおそれ  
H373 一長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、歯の障害のおそれ  
H401 一水生生物に毒性

## 注意事項

安全対策 P260+ P261 一粉じん/煙/ガス/ミスと/蒸気/スプレアの吸入をしないこと、避けること  
P264 一取扱後は手や接触箇所の皮膚をよく洗うこと  
P271 一屋外又は換気の良い場所で使用すること  
P273 一環境への放出を避けること  
P280 一保護手袋/保護委衣/保護眼鏡/保護面の着用が望ましい  
P284 一換気が不十分な場合は、呼吸保護具を着用すること

応急措置 P301+ P330+ P331 一飲み込んだ場合は、口をすすぐこと、無理に吐かせないこと  
P303+ P361+ P353 一皮膚や髪に付着した場合は、衣類や皮膚を水又はシャワーで洗うこと  
P304+ P340 一吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる

応急措置	P305+ P351+ P338 一眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること P308+ P311 一ぱく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること P310 一症状が酷い場合は、速やかに医師の手当てを受けさせる。本第4 項参照のこと P312+ P314 一気分が悪い時は医師に連絡をし、診療/手当を受けること P342+ P311 一呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること P363 一付着した衣類を再使用する場合は洗濯をすること
保 管	P404+ P410 一容器容器に保管をし、日光から遮断すること
破 棄	PSOI 一内容物及び容器は承認をされた廃棄物処理場にて適切な廃棄を推奨する 排水処理基準を遵守して廃棄すること
他の危険有害性	情報なし

### 3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質(混合物)

物質名	CAS No.	Weight - %
塩酸塩ベーススケール除去複合物	7647-01-0	9
スケール除去加速剤	18162-48-6	11.4
酸性着色料	1934-21-0	0.03
水	7732-18-5	79.57

供給者による知見及び濃度において、現時点で追加添加物はなく  
健康や環境に対して危険品として分類される場合が発生した際は本項に記載する。

### 4. 応急措置

標準応急処置方法

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。 意識を失ったり、呼吸が止まるような場合には医師の手当てを受ける。 症状が残るようであれば、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	大量の水で十分に洗い流す。汚れた衣類は取替え、再度使用する前に洗濯をすること。 症状が残るようであれば速やかに医師の手当てを受ける。水で数分間注意深く洗うこと。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し洗浄を続け、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合には無理に吐かせない。大量の水又は数杯の牛乳を飲ませる。

### 5. 火災時の措置

引火点	N/A
可燃限界	N/A
消火剤	散水、泡、炭酸ガス
消火方法	製品が火災に巻き込まれた場合、NIOSH/MSHA 認証の時給式呼吸装置を使用する。 本製品は、非可燃性である。
非常時火災及び爆発危険事項	皮膚や眼の保護具を着用する。爆発の恐れはない。 可能であれば、消防は製品は含まれた水を環境汚染を避けるために 水路、下水道若しくは排水溝に放流しないようにする。

### 6. 漏出時の措置

露出や放出時の対応手順	本製品は、生分解性がある。適切な保護具、ゴム手袋、ゴーグル若しくは安全メガネを使用する。 露出は拭き取り大量の水で中和する。残留分に炭酸ナトリウム溶液をゆっくり加える。 溶液は、19Lの水に4.5kgの炭酸ナトリウムを入れる。 この手順により、露出の残留分は、通常pH5~8になる。
-------------	--

- 人体に対する注意事項** 及び**保護具及び緊急時処置** ————— 屋内の場合、処理終了十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し飛沫等が皮面に付着したり、放出ガスを吸入しないようにする。風上から作業をし風下の人を退避させる。適切な保護具、ゴム手袋、ゴーグルもしくは安全眼鏡を使用するのが望ましい
- 環境に対する注意事項** ————— 露出した製品が河川等に排出し、環境への影響を起こさないよう注意する。流れ出た排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する
- 環境に対する注意事項** ————— 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- 浄化の方法及び機材・材料** ————— 情報なし
- 二次災害の防止策** ————— 環境規制に従って付着した物体及び場所をよく洗浄する

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策** ————— 屋外又は換気の良い場所で使用するのが望ましい
- 安全取扱注意事項** ————— 容器を転倒や落下などの物理的損傷を避けるようにする。使用後は確実に容器が密閉されていることを確認し保管する。取扱い後は手や顔などをよく洗うこと。この製品の取扱い場所で飲食又は喫煙をしない事。取扱い場所への関係者以外の立入りを禁止する。
- 接触回避** ————— アルカリ性物質、その他薬品との接触を避ける塩基類との混触をしてはならない。

### 保管

- 安全な保管条件** ————— 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管すること
- 安全な容器包装材料** ————— ポリエチレン

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 使用パラメータ制御

#### 作業暴露限界

CAS Number	成分	OSHA PEL - TWA	ACGIH TLV	NIOSH - TWA
7647-01-0	HCL	5ppm	2ppm	-----

### 暴露管理

- 設備対策** ————— 屋内の場合、局所排気装置などを使用し十分に換気を行う  
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する
- 呼吸用保護具** ————— 酸性ガス用防毒マスク(J IS T 8152)
- 手の保護具** ————— 化学防護手袋 (J IS T 8116)
- 眼/顔面の保護具** ————— 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡) (J IS T 8147)
- 皮膚及び身体の保護具** ————— 長袖作業着

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的形狀	[液体]	蒸気圧	[20mm.Torr J
色	[琥珀色]	蒸気集中度 (空気 = 1)	[1.27]
臭い	[刺激臭]	蒸発率 (ブチル基酢酸塩 = 1)	[2.0]
pH	[pH <0.8]	水溶性	[完全水溶性]
沸点	[108 °C]	可燃性・引火性	[無し]
自然発火点	[無し]	分解温度	[無し]
密度及び/又は相対密度	[1.06 g /m <sup>3</sup> ]	n -オクタノール/水分分配係数	[無し]
動粘性率	[無し]	溶解度	[無し]
相対ガス蒸度	[無し]	粒子特性	[無し]

## 10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	推奨保管条件下で安定
避けるべき条件	高温と直射日光／混触危険物質塩基類
危険有害な分解生成物	塩化水素ガス

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口）	[分類できない]	皮膚感受性	[分類できない]
急性毒性（経皮）	[分類できない]	生殖細胞変異原性	[分類できない]
急性毒性（吸入：ガス）	[気体では無い]	発がん性	[分類できない]
急性毒性（吸入：蒸気）	[分類できない]	生殖毒性	[分類できない]
急性毒性（吸入：粉塵・ミスト）	[区分4 吸入すると有害]	誤えん有害性	[分類できない]
皮阿腐食性・刺激性	[区分1 重篤な皮向の葉傷]		
目に対する重篤な損傷／目刺激性	[区分1 重篤な眼の損傷]		
呼吸器感受性	[区分1 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こす恐れ]		
特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	[区分2（呼吸器系）呼吸器系の障害のおそれ]		
特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	[区分2（呼吸器系、歯）長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系葉の障害のおそれ]		

本製品は、米国国家毒性プログラム（NTP）や国際がん研究機関（IRAC）における発がん性物質を一切含んでいない。

## 12. 環境影響情報

水性環境有害性短期（急性）	[区分2 水生生物に毒性甲殻類 = 0.4 92m g /L]
水性環境有害性長期（慢性）	[分類できない]
オゾン層への有害性	[分類できない]

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	地域国、現地の法律及び規則に従って適切に廃棄をすること 残留物は、通常の汚水槽への下水処理システムへ廃棄することができる。 廃棄に関する法律は、市町村などによって大幅な相違があるので 各自治体に確認の上、排水基準を遵守して廃棄する。 [区分2（呼吸器系、歯）長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系葉の障害のおそれ]
------	--

## 14. 輸送上の注意

【国連番号】	UN1789
【品名】	塩酸
【国連分類】	8
【容器等級国連分類】	m
【海洋汚染物質】	非該当

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	塩化水素ラベル表示・SOS交付義務対象物質（別表第9の98） 塩化水素特定化学物質第3類物質ラベル表示・SOS交付義務対象物質（別表第9の98） 塩化水素不浸透性保護具使用義務物質
水質汚濁防止法	指定物質（政令第3条の3第5号）
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
PRTR法	該当しない
大気汚染防止法	ばい煙（有害物質）（政令第1条第2号） 特定物質（政令第10条第9号）
輸出貿易管理令	該当しない
化審法	該当しない

## 16. その他の情報

参考文献：NITE 独立行政法人製品評価技術基盤機構

備考：〔免責〕このSDSはJISZ7253:2019に準拠して作成しております。

本記載内容は、通常の取扱いを対象としており、他の物質と組み合わせたり混合をする場合は、安全対策を講じた上でご使用ください。改訂日における最新の情報に基づき作成しておりますが法令の改正及び新しい知見に基づいて危険有害性を有する可能性があります。御使用の際は可能な限り安全確保に努め、ばく露を避けるように充分ご注意ください。

### U.S. 連法規制

- OSHA Hazard Communication Standard: 本製品は、OSHA 29 CFR 1910.1200 に従って、非危険品として分類される。
- OSHA Process Safety Management Standard: 本製品は、OSHA PSM Standard 29 CFR 1910.119 に従って規制されていない。
- EPA Risk Management Planning Standard: 本製品は、EPA RMP Standard (RMP) 40 CFR Part 68 に従って規制されていない。
- EPA Federal Insecticide, Fungicide and Rodenticide Act: 本製品は、FIFRA, 40 CFR Part 150 に殺虫剤として登録されていない。
- TSCA Status: 本製品の含有物は、有害物質規制法(TSCA)に記載されている。
- Superfund Amendments and Reauthorization Act (SARA)
- SARA 313 Information: 本製品の物質は、the Emergency Planning and Community Right-to Know Act of 1986の Section 313の規定値である基準値（僅少）を超えない。
- SARA Section 311/312 Hazard Categories: 重大な健康被害
- SARA 302/304 Extremely Hazardous Substance: 本製品の含有物は、SARA, Title IIIの要求事項に従っている。
- SARA 302/304 Emergency Planning & Notification: 本製品の物質は、SARA, Title IIIの要求事項に該当するものはない。
- Comprehensive Response Compensation and Liability Act (CERCLA): None本製品の含有物は、CERCLAに規定される危険廃棄物の基準値（僅少）を超えない。
- Clean Air Act (CAA): 本製品は、CAA Section 112 (b) にしていされる有害大気汚染物質(HAPS) に指定されている物を含まない。
- 本製品は、Class 1 オゾン破壊物質を含まない。本製品は、Class 2 オゾン破壊物質を含まない。
- Clean Water Act (CWA): 本製品の物質は、CWA に規定される危険物質を含まない。  
本製品の物質は、CWA に規定される優先汚染物質を含まない。  
本製品の物質は、CWA に規定される有害汚染物質を含まない。
- U.S. 州規制California Prop 65, Safe Drinking Water and Toxic Enforcement Act of 1986:  
本製品は、カリフォルニア州においてガンや生殖被害を及ぼす原因となる物質を含んでいない。
- Canadian Controlled Products Regulations (CPR): 本製品はCPRの危険基準に従って分類され、SDSはCPRに必要とされる情報を含む。
- Canadian Ingredient Disclosure List (IDL): 塩化水素(7647-01-0)
- Canadian National Pollutant Release Inventory (NPRI): 本製品に含まれる化学物質で、NPRIに登録されている物はない。

### Global Chemical Inventory Lists

国リスト	名称リスト	表示*
Canada	Domestic Substance List (DSL)	Yes
Canada	Non-Domestic Substance List (NDSL)	No
Europe	Inventory of New and Existing Chemicals (EINECS)	Yes
United State	Toxic Substance Control Act (TSCA)	Yes
Australia	Australian Inventory of Chemical Substances (AICS)	Yes
New Zealand	New Zealand Inventory of Chemicals (NZIoC)	Yes
China	中国現有化学物質名録(IECSC)	Yes
Japan	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (ENCS)	No
Korea	韓国既存化学物質リスト(ECL)	Yes
Philippines	フィリピン化学品および化学物質インベントリ(PICCS)	Yes

\*"YES" 本製品の含有物は、各国リストの要求事項に従っていることを示す。

\*"No" 1つ若しくは複数の本製品の含有物が、リストに記されておらず、リスト外になっていることを示す